

第 3 節

豊かな市民生活と元気な地域を支える

「仕事づくり」

□就労促進・起業支援

□農林畜産業等

□商工業

□観光

□定住・交流

(1) 就労促進・起業支援 ～子育ても仕事もあきらめないまち～

ア 女性の就労の促進

イ 若者・高齢者などの就労の促進

施策の概要

4月19日にみよしまちづくりセンターにオープンした、女性活躍推進プラットフォーム「アシスタ lab.」を核に、女性の就業・起業を支援する各種事業を実施しました。

また、若者・高齢者などの就労・起業を促進するため、補助金の充実など環境整備を行いました。

施策の成果

女性及び若者・高齢者の起業を進めました。また、アシスタ lab.では、起業支援に加え、地元企業・起業家との交流やモノづくりの支援なども行い、3点が商品化されました。

事務事業の実施状況

■ 女性活躍推進プラットフォーム事業（子育て・女性支援部、産業環境部）

○ （新）女性の就業・起業支援事業（子育て・女性支援部）

女性が、それぞれのライフステージに合わせ、柔軟で多様な働き方を選択できるよう、起業セミナーや再就職セミナーを実施するとともに、商品開発・販路開拓の支援を行いました。

（各種セミナー25回／個別相談会17日／交流会3回など）



アシスタ lab.



セミナーの様子

○ 女性起業支援事業（子育て・女性支援部）

活力ある社会創生、産業の活性化を図るため、新たに市内で起業する女性に対し、起業に必要な経費の一部を助成する事業で、4件の支援を行いました。

○ 若者・シニア起業支援事業（産業環境部）

若者の活力ある社会創生、シニア層の生涯現役社会の推進による経済の活性化を図るため、新たに市内で起業する20歳以上39歳以下の若者、40歳以上のシニアの新規起業者に対し、起業に必要な経費の一部を助成する事業で、若者6件の助成を行いました。

○ 女性就労促進事業（産業環境部）

女性の活躍の場を広げ、女性が能力を十分に発揮するための環境整備に取り組む企業を支援する事業で、2件の助成を行いました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
女性の就業・起業支援事業	11,751		11,751	アシスタ lab. 会員登録者 164 人 アシスタ lab. 利用者 延 2,771 人
女性起業支援事業	8,000		8,000	起業 4 件
若者・シニア起業支援事業	8,941		8,941	若者起業 6 件
女性就労促進事業	1,874		1,874	環境整備 2 件
計	30,566		30,566	

(2) 農林畜産業等 ～農業にふれたくなるまち～

ア 農林畜産業等の企業的経営の推進

イ 楽しく農畜産業等ができるまちづくり

施策の概要

農業経営基盤を強化し収益性の高い農林畜産業を推進するため、認定農業者などの育成、アスパラガスや白ねぎなどの重点品目の新規植栽などを支援し、農産物の生産振興と経営安定を図りました。

畜産経営支援のためのヘルパー利用や予防接種の助成など、畜産経営の安定化を支援するとともに、「みよし和牛」のブランド化の推進を図りました。

施策の成果

重点品目（野菜5品目・果樹3品目・花き3品目）を中心に生産拡大を図り、白ねぎ・ぶどうなどの作付面積が増加しました。

また、畜産の経営規模の拡大支援、労働時間の短縮や伝染病を予防する施策により、畜産の経営基盤の安定につなげました。

事務事業の実施状況

■ オール三次産品ブランド化事業（産業環境部）

開発・改良した産品の販売力強化、生産者・商工業者などによるネットワーク組織の継続支援を行うとともに、生産者組織「オール三次農産品ブランド開発協議会」の運営支援を行いました。

また、産品開発に係るワークショップを開催し、販売力の強化につなげました。

■ 【担い手育成・強化事業】認定農業者等育成事業（産業環境部）

農業所得の向上と経営安定を図るため、農地の利用集積により経営規模の拡大を行った法人を含む認定農業者を支援しました。

■ 【農畜産物の生産力強化事業（農産物）】麦・大豆等生産振興推進事業（産業環境部）

加工品原材料の安定供給を図るため、麦・大豆・山の芋及びカーターピーナッツの栽培の拡大を支援しました。

■ 【農畜産物の生産力強化事業（農産物）】地産地消の店認定事業（産業環境部）

地産地消を推進するため、三次産農畜産物や加工品を食材に使用した料理を提供している飲食店などを「地産地消の店」として認定し、三次産農畜産物の宣伝及び消費拡大を図りました。



地産地消の店認定プレート



やき串専門 串げん



農家レストラン こいこい屋



遊食広場 まごころ亭

新規認定店（3店舗）

- **【農畜産物の生産力強化事業（農産物）】グリーンアスパラガス新規植栽支援事業（産業環境部）**
グリーンアスパラガスの新規植栽を促進するため、ほ場やかん水施設の整備、機械導入を支援しました。
- **【農畜産物の生産力強化事業（農産物）】**
出荷野菜・花きハウス導入・かん水施設整備事業（産業環境部）
出荷野菜や花きの生産を促進するため、ビニールハウスの導入とかん水施設の整備を支援しました。
- **【農畜産物の生産力強化事業（農産物）】振興作物産地化推進支援事業（産業環境部）**
重点品目の産地化を進めるため、白ねぎ、玉ねぎ、トマト、ほうれんそうの新規植栽、ほ場の整備などを支援しました。
- **【農畜産物の生産力強化事業（農産物）】果樹・花き生産振興支援事業（産業環境部）**
ぶどう・梨・ゆず、菊・りんどう・トルコギキョウの生産振興のため、新規植栽や規模拡大に必要なほ場の整備や、生産・出荷に必要な機械の導入を支援しました。
- **【農畜産物の生産力強化事業（畜産）】（産業環境部）**
和牛経営規模拡大をめざす畜産農家への支援として、飼養管理の省力化と自給飼料の確保による低コスト化を図るため、水田放牧牛の導入と条件整備への支援を行いました。
あわせて、肉用牛の改良増殖を推進し、肉質・増体などの産肉能力の向上を図り、優秀な「みよし和牛」のブランドを構築し、生産性の高い畜産経営を実現するため、畜産農家が行う優秀繁殖雌牛保留などに対して支援を行いました。
また、三次産和牛子牛を三次市内の肥育農家が肥育することで産肉データを収集し、市内の和牛繁殖雌牛の改良を促進するとともに、三次産まれ、三次育ちの「みよし和牛」の確立を図ることを目的として、和牛肥育農家に対し三次産素牛の購入に必要な経費に対して支援を行いました。
酪農経営支援として、乳用牛の家畜伝染病の発生と拡大を防ぎ、衛生的な酪農経営を確立するため、家畜伝染病の定期検査や予防接種に要する経費への支援を行うとともに、酪農家の年中無休状態の解消と労働安全衛生対策の支援として、定期的または臨時的に利用するヘルパーに要する経費に対して助成を行いました。また、酪農経営規模の拡大と経営の安定化に向け、乳用牛の増頭または更新に要する経費や牛舎の新築、生乳生産に関連する機械導入に要する経費への支援を行いました。



水田を活用した和牛放牧の様子

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
オール三次産品ブランド化事業	1,988		1,988	オール三次農産品ブランド開発協議会 4 回 産品開発ワークショップ 4 回 延 54 人
認定農業者等育成事業	14,669		14,669	集積面積 約 148ha 23 経営体 (内訳：13 法人、10 個人)
麦・大豆等生産振興推進事業	8,835		8,835	作付面積 約 88.35ha (30 件)
地産地消の店認定事業	469		469	新規認定店 (3 店舗)
グリーンアスパラガス新規植栽支援事業	2,228		2,228	申請件数 3 件 新規植栽面積 26.2a
出荷野菜・花きハウス導入・かん水施設整備事業	15,241		15,241	ハウス導入・かん水施設整備 29 件 新規ハウス導入面積 52.3a
振興作物産地化推進支援事業	2,699		2,699	白ねぎ 9 件, ほうれんそう 5 件 新規植栽面積 118.9a
果樹・花き生産振興支援事業	10,290		10,290	ぶどう 7 件, 梨 1 件, ゆず 3 件, りんどう 2 件, トルコギキョウ 4 件, 菊 4 件 新規植栽面積 162.2a
畜産経営支援事業	5,155		5,155	和牛の里創造事業 7 件 肉用牛ヘルパー利用助成 13 戸 アカバネ病等予防対策事業 60 件 肥育和牛導入支援事業 10 頭
和牛改良推進事業	5,460		5,460	肉用牛ブランド化推進事業 優秀繁殖雌牛保留 41 頭 優秀繁殖雌牛導入 6 頭 優秀受精卵移植 8 頭
酪農経営支援事業	11,605		11,605	家畜伝染病予防対策事業 21 件 酪農ヘルパー利用助成 12 戸 乳用牛導入・更新促進事業 43 頭 酪農飼養環境整備事業 2 件
計	78,639		78,639	

ウ 美しい風景を伝えるための農業

施策の概要

農村や森林のもつ環境保全機能を維持し、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐための地域や集落などの活動を支援しました。また、有害鳥獣による農作物被害の防止や農業基盤の整備に対する支援を行いました。

施策の成果

中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払制度により、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための地域の共同活動や営農活動、農地などの保全活動を支援することにより、農業生産活動の向上が図られました。

手入れがされていない森林を整備することにより、森林のもつ公益的機能の維持が図られたほか、森林・林業の体験活動を通じて森づくりに対する理解を深めることができました。

また、有害鳥獣による農作物被害を防止するため、農業者や地域が防護柵などを設置する取組を支援し、農作物被害の低減につなげました。さらに、地域のニーズに応じた農地・農業水利施設などの整備により、生産効率を高めるとともに、担い手への農地集積を促進しました。

事務事業の実施状況

■ 中山間地域等直接支払交付金事業（産業環境部）

農業生産条件の不利な中山間地域などにおいて、集落などを単位として、農用地を維持・管理していくための取り決め（協定）に基づき農業生産活動などを行う場合に、面積に応じて補助金を交付しました。

■ 多面的機能支払交付金事業（産業環境部）

農業・農村の有する国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能の維持・発揮を図るために地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進しました。

■ 農村環境保全事業（産業環境部）

中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度により交付金を受けていない地域における農地・水路・農道・ため池などの農業施設や農村部の住環境を守る活動に対し、地域の共同活動団体や個別の小規模農家に補助金を交付しました。

■ ひろしまの森づくり事業（環境貢献林整備事業）（産業環境部）

15年以上手入れがされないまま放置された人工林について、間伐などの手入れを行うことで、森林が持つ公益的な機能を高める取組を支援しました。

■ ひろしまの森づくり事業（里山林対策）（産業環境部）

林業体験活動や手入れのされていない里山林の整備を行い、森林、林業に対する理解を深める取組を行いました。



ひろしま「山の日」県民のつどい in みよし

■ 搬出間伐体制強化支援事業（産業環境部）

搬出間伐事業における木材の安定的・効率的な供給を図るため、林業事業体（森林組合）に対し、搬出間伐に要する高性能林業機械のリース料に対する支援を行いました。

■ 有害鳥獣被害防止柵設置事業（産業環境部）

イノシシなどによる農作物被害を防止するため、農業者個人が設置する防護柵や地域または集落で一体的に設置する防護柵の資材費に対して支援しました。

■ 小規模農業基盤整備事業（産業環境部）

地域農業の振興を図るため、老朽化して危険なため池の改修、危険度が高く緊急的なため池の整備事業を県単独の補助事業を活用して行いました。

■ 農地耕作条件改善事業（産業環境部）

担い手への農地の集積・集約化を推進するため、農業水利施設の整備及び農作業道の整備を、国庫補助事業を活用して行いました。

■ 農村地域防災減災事業（ため池等整備事業）（県営）（産業環境部）

耐震診断調査で、健全度が低いと判定された湯口谷3号池・岩神池・大樽池の整備に対し、負担金を支出しました。

■ 備北南部地区広域営農団地農道整備事業（県営）（産業環境部）

2期地区の工事・測量設計・用地買収などの事業に対し、負担金を支出しました。

■ 林道整備事業（山家線・東山線）（産業環境部）

山家町地区において、林業専用道開設工事を国庫補助事業、君田町石原地区において、路面工事を県補助事業により行いました。

■ 幹線林道比和・新庄線整備事業（県営）（産業環境部）

「君田・布野区間」の君田町茂田地区・布野町上布野明谷地区の開設工事に対し、負担金を支出しました。また、櫃田地区の用地測量業務を市単独事業として行いました。

■ 小規模崩壊地復旧事業（産業環境部）

人家の裏山のがけ崩れや浸食などによって危険となっている箇所について、山留工・山腹工などの工事を県単独の補助事業により行いました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
中山間地域等直接 支払交付金事業	467,842	国県支出金 350,881	116,961	集落協定 246 件 (443,879) 個別協定 15 件 (23,963) 協定面積 3,500ha
多面的機能支払交 付金事業	229,616	国県支出金 172,212	57,404	農地維持 167 件 (107,763) 協定農地 3,648ha 資源向上 (共同) 155 件 (67,189) 協定農地 3,520ha 資源向上 (長寿命化) 26 件 (54,664) 協定農地 1,242ha
農村環境保全事業	3,032		3,032	補助金 38 件
ひろしまの森づく り事業(環境貢献林 整備事業)	52,020	国県支出金 52,020		人工林整備面積 116.53ha
ひろしまの森づく り事業(里山林対 策)	25,800	国県支出金 25,800		里山林整備面積 14.53ha 体験学習活動など 383 人
搬出間伐体制強化 支援事業	840		840	搬出材積 3,175 m³
有害鳥獣被害防止 柵設置事業	9,294		9,294	個人 189 件 集落 9 件
小規模農業基盤整 備事業 《緑越明許分》	2,520	国県支出金 1,260 起債 600 その他 630	30	ため池緊急整備 1 件 (木藤池) 2,520
農地耕作条件改善 事業 《下段：緑越明許分》	816	国県支出金 560 起債 100 その他 122	34	事業費 (三次第2 地区) 816 1 件 (農地整備)
	30,455	国県支出金 20,793 起債 4,500 その他 4,830	332	事業費 (三次地区) 15,455 5 件 (用排水路・農道舗装) 事業費 (三次第2 地区) 15,000 1 件 (農地整備・営水路設計等)
農村地域防災減災 事業(ため池等整備 事業) (県営) 《下段：緑越明許分》	1,539	起債 1,200 その他 150	189	[県営事業負担金] 岩神池負担割合：市 10.0% 地元 10% 事業費 1,500 大樽池負担割合：市 20.0% 事業費 6,200
	8,100	起債 5,600 その他 1,800	700	[県営事業負担金] 湯口谷 3 号池負担割合：市 7% 地元 2% 事業費 90,000

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
備北南部地区 広域営農団地 農道整備事業 《下段：繰越明許分》	3,900	起債 3,700	200	【県営事業負担金】 負担割合：10.0% 事業費 39,000 道路工・用地補償.
	10,500	起債 9,900	600	【県営事業負担金】 負担割合：10.0% 事業費 105,000
林道整備事業 (林業専用道山家線)	15,984	国県支出金 10,389 起債 5,500	95	事業費 15,984 開設工事
林道整備事業 (林業専用道東山線)	6,000	国県支出金 2,400 起債 3,600		事業費 6,000 測量設計・工事
幹線林道比和・新庄 線整備事業 《下段：繰越明許分》	5,115	起債 5,000 その他 35	80	【県営事業負担金】 負担割合：5% 県営工事費負担金 5,115 本工事費等
	36,723	起債 36,700 その他 17	6	【県営事業負担金】 負担割合：5% 県営工事費負担金 2,576 測量試験費 34,147
小規模崩壊地 復旧事業 《下段：繰越明許分》	1,430	国県支出金 715 起債 300 その他 357	58	事業費 3件 1,430
	15,392	国県支出金 7,696 起債 3,800 その他 3,848	48	事業費 6件 15,392
計	926,918	737,015	189,903	

エ 農林畜産業等に携わる人材育成

施策の概要

農業従事者の高齢化、後継者不足などが進む中、地域農業の振興と経営発展を図るため、新たな農業の担い手として従業員を雇用する集落法人などに対する支援を行いました。

また、自立した農業経営をめざす認定新規就農者の営農初期段階の機械投資などの負担軽減と早期の経営安定を図るため、機械、施設などの導入に対する支援を行いました。

施策の成果

集落法人などが、農業の担い手となる従業員を新たに2人雇用しました。また、認定新規就農者1人が事業を活用して機械を導入しました。

事務事業の実施状況

■ 【オール三次農産物振興事業】集落法人等新規雇用事業（産業環境部）

新たな農業の担い手として、新規に従業員を雇用した集落法人などの雇用に係る経費に対して支援を行いました。

■ 【オール三次農産物振興事業】新規就農者機械等導入支援事業（産業環境部）

新たな地域農業の担い手として、地域での定着を早期に実現させるため、機械や施設などの導入に係る経費に対して支援を行いました。

■ 認定新規就農者育成支援事業（産業環境部）

認定新規就農者の農業経営の早期安定化を図るため、栽培条件の整備や技術習得などの経費に対して支援を行いました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
集落法人等新規雇用事業	7,200		7,200	集落法人等雇用者 7人 (1年目2人, 2年目5人)
新規就農者機械等導入支援事業	758		758	機械導入件数 1件
認定新規就農者育成支援事業	500		500	新規参入者 1人
計	8,458		8,458	

(3) 商工業 ～みんなが働くことができるまち～

ア 商工業の活性化

施策の概要

活気のある商工業の振興のため、中小企業者の経営基盤の確立や産学官連携の推進による特色ある事業を推進しました。

施策の成果

地域産品開発支援事業や三次産品ブランド化事業及び三次イノベーション会議の事業を通じて、新規事業の展開を推進しました。

また、プレミアム付商品券発行事業や、リフォーム支援事業により新たな消費が喚起されました。さらに、経営支援設備投資事業や預託融資制度などにより中小企業の経営基盤の強化を行いました。

事務事業の実施状況

■ プレミアム付商品券発行事業（産業環境部）

地元消費の拡大、地域経済の活性化策として、三次商工会議所及び三次広域商工会を通じて 10% のプレミアムが付いた商品券 50,000 冊（総額 5 億 5,000 万円）を発行しました。

■ 【みよし産業応援事業】新規事業展開者支援（産業環境部）

地域資源を活用した新たな商品開発を支援するため、地域産品開発支援事業 2 件、三次産品ブランド化事業 3 件の特色ある新たな取組について支援を行いました。

■ リフォーム支援事業（産業環境部）

建築関連工事の促進により地域経済の活性化及び市民の住環境の向上を図るため、リフォーム 124 件（店舗 8 件、住宅 116 件）に要する経費に対して補助を行いました。

■ 経営支援設備投資支援事業（産業環境部）

事業の維持、拡大に必要な設備等の新設又は更新に要する経費に対して補助を行いました。補助件数は 16 件でした。

■ 小規模事業者経営改善資金利子補給事業（産業環境部）

企業の経営の安定と発展を図るため、日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金を利用した 36 事業者に対して利子補給金を交付し、金利負担の軽減を行いました。

■ 中小企業信用保証料補助事業（産業環境部）

中小企業者の経営の安定・発展や新規創業を支援するため、広島県信用保証協会の保証により創業融資を受けた 10 事業者に対して信用保証料を助成しました。

■ 中小企業融資支援制度設置事業（産業環境部）

中小企業者の経営の安定・発展を図るため、市内金融機関と提携し、預託制度により長期・低金利で利用できる融資制度を運用しました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

融資制度の新規利用は、小規模事業資金が5件、中小企業経営安定資金が7件ありました。

■ 産学官連携事業（産業環境部）

三次イノベーション会議の事業として、研究開発事業への補助、事業者と大学の研究者とのマッチング、連携の成果発表などを通じて、県立広島大学のシーズ（研究技術、成果）を生かし、事業者の新規事業への参入、新製品の開発、経営の安定などを進める取組を進めました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
プレミアム付商品券発行事業	53,281		53,281	発行額 5 億 5,000 万円
【みよし産業応援事業】 新規事業展開者支援	658		658	地域産品開発支援事業 2 件 三次産品ブランド化事業 3 件
リフォーム支援事業	21,280		21,280	店舗 8 件 住宅 116 件
経営支援設備投資支援事業	4,138		4,138	交付決定件数 16 件
小規模事業者経営改善資金利子補給事業	2,074		2,074	交付決定件数 36 件
中小企業信用保証料補助事業	1,448		1,448	創業 10 件
中小企業融資支援制度	180,000	その他 180,000		小規模 新規：5 件 融資額：9,550 千円 経営安定 新規：7 件 融資額：52,700 千円
産学官連携事業	600		600	産学官連携セミナー開催 1 回 何でもサロン開催 1 回 産学官連携推進事業 新規 2 件
計	263,479	180,000	83,479	

イ 雇用の確保と維持に向けた企業誘致と企業支援

施策の概要

豊かな市民生活を支えるため、安定的かつ継続的な雇用の場の確保をめざし、積極的な企業誘致活動を行いました。

三次工業団地第Ⅲ期分譲地の完売後に選定した新たな産業用地（四拾貫産業用地，三良坂産業用地，東酒屋産業用地）の整備や誘致に向けた情報発信を行いました。

施策の成果

さらなる産業の振興と定住促進のため，新たな産業用地への誘致活動等を行いました。

企業留置や市内遊休地への企業誘致活動，オフィスビジネス系事業所設置奨励金のPR活動を，積極的に行いました。

事務事業の実施状況

■ 企業誘致推進事業（産業環境部）

広島県が主催する企業立地セミナーや他のイベントに積極的に参加し，情報収集及び三次市の産業用地や優遇制度，またオフィスビジネス誘致の情報などを発信しました。

一般財団法人日本立地センターと連携し，全国に産業用地の情報発信を行ったほか，企業訪問による誘致活動を行いました。また，企業留置のため市内企業を訪問し，情報収集と意見交換を行いました。



東京で開催された広島県企業立地セミナー2019

■ 工場等設置奨励事業（産業環境部）

工場等設置奨励金7件，雇用奨励金2件（計13人雇用分），水道助成金1件の交付を行いました。

■ 新たな産業用地の取組（産業環境部）

既に整備されている四拾貫産業用地について情報発信を行いました。

東酒屋産業用地については，国や県と埋め立てのための協議を行い，整備に向けた取組を進めました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事 業 費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
企業誘致推進事業	3,803		3,803	市外訪問企業数 43 社 (うち新規 13 社)
工場等設置奨励事業	39,072	国県支出金 6,500 起債 32,500	72	工場等設置奨励金 7 件 雇用奨励金 2 件 (計 13 人雇用) 水道助成金 1 件
計	42,875	39,000	3,875	

ウ 活力あるお店づくりとにぎわいの創出

施策の概要

活力とにぎわいの溢れる商店街の再生，元気なお店づくりを進めるため，空店舗の解消や，特色あるイベントの開催支援など，ハードとソフトの両面から事業の推進に努めました。

施策の成果

みよし産業応援事業の中で中小企業者支援 4 事業と商店街等支援 2 事業による補助（32 件）を行い，商店街や商店などの事業承継支援や事業展開の支援を行いました。

意欲ある商店や商店街の独自性のある取組の支援を通じて，活力あるお店づくりとにぎわいの創出を進めることができました。

事務事業の実施状況

■ 【みよし産業応援事業】中小企業者等支援（産業環境部）

積極的に事業を展開する事業者を支援して産業の活性化を図るため，販路拡大支援事業（11 件），新規開業支援事業（5 件），空店舗出店支援事業（1 件）及び事業承継支援事業（2 件）により中小企業者の支援を行いました。

■ 【みよし産業応援事業】商店街等支援（産業環境部）

商店街のにぎわいと活力あるお店づくりを進めるため，商店街等活性化支援事業（12 件），チャレンジショップ運営支援事業（1 件）により商店街などの支援を行いました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
【みよし産業応援事業】 中小企業者等支援	2,009		2,009	販路拡大支援事業 11 件 新規開業支援事業 5 件 空店舗出店支援事業 1 件 事業承継支援事業 2 件
【みよし産業応援事業】 商店街等支援	1,883		1,883	商店街等活性化支援事業 12 件 チャレンジショップ運営支援事業 1 件
計	3,892		3,892	

エ ものづくり・商売に携わる人材の育成と起業促進

施策の概要

産業界が必要とする人材の確保、育成を行うため、企業とのマッチングや職業訓練による人材の育成を進めました。また、女性や若者、高齢者を対象に、新たな価値を創造する新規起業者の掘り起こしと支援を行いました。

施策の成果

職業訓練委託事業により、従業員のスキルアップによる企業への支援と、資格取得などによる就職の促進を図りました。雇用労働対策協議会を中心に行った就職・就農・定住相談・面接会では、企業32社、就職希望者35人の参加がありました。

事務事業の実施状況

■ 雇用労働対策事業（産業環境部）

雇用労働対策協議会の活動として、就職・就農・定住相談・面接会の開催、企業ガイドブックの発行、みよし就活ネットなどの事業を行いました。また、高校生キャリア育成事業として、市内高校3校の2年生を対象とした企業説明会及び企業見学（企業11社、2年生311人）を行い、将来を見据えた三次市内企業への就業と定住の促進に取り組みしました。



三次市就職・就農・定住相談・面接会



高校生キャリア育成事業企業見学

■ 職業訓練委託事業（産業環境部）

就職活動中の三次市民及び市内事業所の従業員を対象とし、受講料無料で委託訓練事業を行い、求職者の就業機会の拡大と市内企業の従業員のスキルアップに努めました。スキルアップや資格取得受験準備など企業や求職者などのニーズに即した29講座を開設し、236人の受講がありました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事 業 費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
雇用労働対策事業	914		914	就職・就農・定住相談・面接会 参加 35 人 企業ガイドブック 印刷・配布 1,500 部 高校生キャリア育成事業 市内高校 2 年生 311 人
職業訓練委託事業	9,941		9,941	講座数 29 講座, 受講者 236 人
計	10,855		10,855	

(4) 観光 ～人が集まり、にぎわいがあるまち～

ア 美しく懐かしい風景と伝統を活かした魅力の向上

施策の概要

三次地区の歴史、文化、芸術などを活かして、本市の観光・交流人口の拡大、観光消費額の増加を図るとともに、三次地区の歴史、伝統及び文化に学び、継承する取組を通じて、郷土への誇りの醸成と交流による創造的な活動の活性化を図るため、美しい景観づくりに向けた三次町の歴史的な街なみ整備や三次地区の文化・観光まちづくりの核となる三次地区拠点施設の整備など、三次まるごと博物館事業に位置付く各種事業を行いました。

施策の成果

三次町の歴史的な街なみ整備の一環として、これまでに進めてきた石畳整備や電線の地中化に加え、家屋の修景整備を継続的に進めてきたことにより「趣」のある街なみ景観が形成されています。

さらには、三次地区拠点施設の整備を契機として、平成30年度に発足した「三次地区の文化・観光まちづくりを進める会」などにより、官民が一体となった文化・観光まちづくりの取組が進められ、徐々ににぎわいが生まれてきています。

事務事業の実施状況

■ 三次町歴史的地区環境整備街路事業（建設部）

三次町の上市・太才通り、三次本通りの沿道地区（延長約1.4km）において、歴史的環境保全や資源の活用を通して、居住環境の向上と地域活性化を図るため、修景補助を行っています。

修景整備の補助申請が4件あり、平成12年度から行ってきた補助件数は50件となりました。これらの街なみ環境整備の取組の成果をもって、三次町歴みち協議会、三次地区自治会連合会、三次市の3者で「都市景観の日」実行委員会が主催する「都市景観大賞」に応募し、平成30年度都市景観大賞「都市空間部門」優秀賞を受賞することができました。

平成31年4月に湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）が開館し、三次町を訪れる観光客は、今後ますます増加することが予想されます。市民が誇りに感じる景観形成に向けて今後も歴史的な街なみ整備を推進していきます。



三次町歴史的街並み景観形成地区



三次地域交流館 木綿兎（もめん）

■ 三次町小路美装化事業（建設部）

住民の住環境向上のほか、湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）の完成により更に観光客の増加が予想されるため、町歩きのための観光資源として三次町の石畳通りから伸びる7路線の小路の美装化を進めています。

平成28年度は小路の設計を行い、平成29年度は西江寺小路、鉄蔵小路の2路線の美装化工事と三次地区拠点施設から石畳通りまで観光客をいざなうための誘導路の設計を行いました。平成30年度は小路5路線と誘導路の美装化工事を行いました。

三次地区拠点施設から町歩きへいざなうよう整備を行うことで、商店街の活性化につながる石畳通りへの出店や小路を活用したイベントなどのにぎわいづくりも期待しています。



誘導路



正庵小路

■ 町家再生創造拠点化事業（建設部）

平成28年度は地方創生加速化交付金、平成29年度からは地方創生推進交付金を活用し、三次町の町家再生を通して、まちの魅力を高め、にぎわいを創出するため、ワークショップや、講演会を開催しました。平成28年度から始まったこの事業のワークショップ参加をきっかけに、空き家を自ら購入し及び改修して、平成29年度にはカフェを開店される方が生まれました。

平成30年度は「食」をテーマにワークショップや講演会を行いました。今年度もワークショップや社会実験を行いながら、来訪者の回遊促進に繋がる取り組みの掘り起こしを行いつつ、今後の自発的・継続的な実施が可能となるよう地域住民との連携やキーパーソンの抽出を図ります。



ワークショップの様子



マルシェの様子

■ 三次地区拠点整備事業（総務企画部）

平成 28 年 11 月に湯本豪一氏から寄贈の申し出をいただき、平成 29 年 8 月に本市に受け入れた妖怪関連資料について、平成 30 年 4 月に、総件数 3,719 件、総点数 4,795 点の分類や写真整理等の一次調査を終えました。

4 月 19 日には、東映株式会社と事業連携に係る基本合意書の締結を行い、その第一弾として 4 月 21 日から 5 月 13 日の会期で、名古屋市において「妖怪・ミイラ展～浮世絵から幻獣ミイラまで～」を開催しました。

6 月 6 日には、学校法人 女子美術大学との地域活性化に係る事業連携に関する覚書を締結し、11 月から 2 月にかけて、市立三次中学校において、女子美術大学の指導を受けながら、オリジナル妖怪キャラクターの制作や、そのキャラクターを活用した企画・提案の取りまとめなどを行いました。

7 月 17 日から 9 月 23 日までの会期で、スペイン王立サン・フェルナンド美術アカデミーにおいて、本市所蔵の妖怪資料により開催された「日本・スペイン外交関係樹立 150 周年記念『妖怪：想像のイコノグラフィー 日本の超自然的イメージの起源としての百鬼夜行』」では、約 2 ヶ月間で 1 万 4,000 人余りの来場があり、世界に向けて情報発信を行いました。

10 月 27 日から 11 月 4 日にかけては、広島三次ワイナリーを会場に、湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）の開館半年前プレオープンイベントとして、スペイン出展資料を中心に「スペイン展凱旋 妖怪コレクション展」を開催し、9 日間で約 2,700 人の来場がありました。

その他の広報活動として、平成 29 年度に引き続き、年 4 回「もののけだより」を市内全戸に配布したほか、メールマガジンの配信や情報誌等への広告掲載、開館告知ポスター・チラシ及びノベルティグッズの制作・配布、市内外のイベント・会議等での情報発信、プロモーション動画《三次もののけミュージアム×放課後ミッドナイトーズ》3 編を順次公開、さらには、市内各所に案内誘導看板を設置するなどにより、開館に向けた機運醸成を図りました。

三次地区のまちづくりにおいては、平成 29 年度に引き続き、「三次地区の文化・観光まちづくりを進める会」により、SNS 等での情報発信をはじめ、比熊山登山道整備やまちのユニホームづくりなどの活動が進められ、市も参加や意見交換等を行いながら連携を図りました。

その他、開館に向けて、6 月 27 日に「三次市三次地区拠点施設設置及び管理条例」を制定し、10 月 1 日には「三次地区文化・観光まちづくり交流館」の指定管理者を「一般社団法人 みよし観光まちづくり機構」に決定するとともに、ステージ等の整備を含めた工事発注の方向性が定まったことから、開館予定日を平成 31 年 4 月 26 日とすることを表明しました。

10 月 29 日には、建築・機械設備工事の変更契約及び展示備品の購入契約を締結するとともに、各工事及びその他の備品購入を進め、3 月末に一部の外構工事を残して施設整備が完了しました。12 月には、開館記念事業実行委員会を設置し、開館からゴールデンウィーク中に実施する各種記念事業及び交通対策などの検討・準備を進めました。



日本・スペイン外交関係樹立
150 周年記念展の様子



三次地区拠点施設建設状況
(平成 31 年 4 月 15 日現在)

■ 鵜飼伝統文化保存継承事業（地域振興部，教育委員会）

三次を代表する伝統文化である鵜飼を次代に伝えていくため、鵜匠や舵子の賃金、鵜の餌代などをはじめ、環境整備として鵜舟の新造に補助しました。

また、平成30年7月豪雨により被害を受けた鵜飼乗船場や鵜飼飼育場の復旧に対し、補助をしました。



新造された鵜舟



災害復旧作業の様子

■ 神楽魅力アップ事業（地域振興部，教育委員会）

平成29年3月に市内の神楽団6団体が加入する「三次市観光振興神楽協議会」を設立し、各種イベント出演の助成を行いました。また、神楽魅力づくり助成事業として、神楽団の備品購入費補助を実施しました。平成31年1月には、加入6団体が出演する「第2回三次市神楽共演大会」を三次市観光協会と共催しました。



三次市神楽共演大会の様子

■ 「第30回忠臣蔵サミット in 三次」の開催（地域振興部）

第30回義士親善友好都市交流会議「忠臣蔵サミット」を三次市で開催しました。交流会議では、15の参加自治体が「誇れるわがまちと忠臣蔵」をテーマに事例発表を行いました。記念講演では、イラストレーターのもりいくすお氏に「忠臣蔵 テレビのおはなしとゆかりの地と」と題した話をしていただきました。最後にみわ町田舎芝居同好会わらじ座による「赤穂浪士銘々伝 南部坂雪の別れ」を上演しました。翌日には、参加自治体に三次市の忠臣蔵ゆかりの地を巡っていただき、三次市の認知度向上と加盟自治体との交流を深めました。



義士親善友好都市交流会議の様子



忠臣蔵ゆかりの地視察の様子

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
三次町歴史的地区 環境整備街路事業	9,564	国県支出金 4,782	4,782	修景補助件数(4件)
三次地区拠点整備 事業(ハード事業) 《下段：繰越明許分》	144,377	国県支出金 30,200 起債 114,100	77	住民説明の機会 計 32 回 内訳：出前講座 6 回，自主イ ベント「プレオープンイベント スペイン展凱旋 妖怪コレク ション展」1 回，市内関連イ ベント 7 回，三次地区の文化・観 光まちづくりを進める会(全体 会議) 1 回，その他会議・説明 会等 17 回
	743,901	国県支出金 30,000 起債 688,700	25,201	
三次地区拠点整備 事業(ソフト事業) 《下段：繰越明許分》	42,587	国県支出金 7,016 起債 22,300	13,271	
	1,467		1,467	
三次町小路美装化 事業 《下段：繰越明許分》	31,099	起債 29,500	1,599	小路4路線の工事
	45,280	国県支出金 10,000 起債 33,500	1,780	誘導路と小路1路線の工事
町家再生創造拠点 化事業	4,952	国県支出金 2,476	2,476	ワークショップ(1回) 講演会(2回)
鵜飼伝統文化保存 継承事業	19,866		19,866	鵜飼伝統文化振興会へ補助
神楽魅力アップ事 業	1,568		1,568	神楽共演大会来場者数 約 800 人 神楽団への出演料助成 9 件 備品購入費助成 2 件
第 30 回忠臣蔵サ ミット in 三次	3,167		3,167	参加自治体数 15 来場者数 440 人
計	1,047,828	972,574	75,254	

イ 観光資源を活かした集客力の向上

施策の概要

中国やまなみ街道が全線開通し2つの高速道路がクロスする拠点性、利便性を活かしながら、オール三次観光推進プロジェクトの戦略に基づき、事業を展開しました。

三次の魅力を感じてもらうため、観光施設の周遊と宿泊者の満足度向上などをめざして開始した「三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業」は6年目となり、制度のPRを積極的に行うとともに、平成28年度からスポーツ・文化の合宿・大会については連泊も助成対象とし、宿泊客や観光消費額の増加に努めました。

また、「三次市観光キャンペーン実行委員会」が行うオール三次観光交流キャンペーン事業などにより観光PR、観光客誘致拡大などの活動を行うとともに、各観光協会に対する運営補助のほか、各種機関・団体などが開催する地域イベント・行事への運営補助を行い、観光振興を図りました。

施策の成果

中国やまなみ街道の全線開通と、全線開通に合わせて戦略的に酒屋地区に魅力ある施設を集結させることで、エリアの魅力を高め、目的地として選ばれるようになったことで、総観光客数は平成27年から過去最高を記録してきました。平成30年においては、平成30年7月豪雨の影響もあり33.8万人と平成29年（34.1万人）を下回ったものの、外国人観光客は増加傾向にあります。

「三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業」については、協賛施設に制度の周知に協力いただき、利用は17,058件と、昨年度よりも多くの利用がありました。

オール三次観光交流キャンペーン事業では、三次ならではの食である「霧のまちのぐるめぐり」を活用したグルメスタンプラリーの実施や、三次観光イメージキャラクター「きりこちゃん」と県内の様々なイベントへ参加し、「みよし」の知名度アップにつなげていきました。

5月29日には、プロ野球公式戦「広島東洋カープ対西武ライオンズ」を開催し、13,841人の来場者でにぎわいました。この試合にあわせて山陰からのカープ女子ツアーを実施し、山陰方面からの誘客と「スポーツのまちみよし」の認知度向上と三次ファンの拡大を図りました。

事務事業の実施状況

- 【オール三次観光・交流キャンペーン】三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業（地域振興部）
宿泊施設と観光・土産施設またはスポーツ・文化施設でスタンプが押印されると、登録された協賛施設で1,000円のクーポン券として利用できる助成事業を行いました。
- 【オール三次観光・交流キャンペーン】オール三次観光・交流事業補助（地域振興部）
霧のまちのぐるめぐり認定店とみよし地産地消認定店をめぐる、「霧のまちぐるめぐりみよしグルメスタンプラリー」を行い、観光施設などの周遊促進を図りました。また、三次観光イメージキャラクター「きりこちゃん」のPRグッズを作成し、様々な場面でのPR活動を展開しました。さらには、三次市へのツアー商品に対する支援や送客に対する各旅行業者への支援事業を行いました。
- 【オール三次観光・交流キャンペーン】観光協会などへの運営補助（地域振興部）
各地域の観光協会などに対し、運営補助を行いました。

■ 【オール三次観光・交流キャンペーン】地域イベントへの開催補助（地域振興部）

各種機関・団体などで構成する実行委員会が開催する地域イベント・行事に対し、開催補助を行いました。

■ 【オール三次観光・交流キャンペーン】

三次市プロ野球公式戦開催実行委員会への支援
（地域振興部）

三次市プロ野球公式戦開催実行委員会が実施する2018年プロ野球公式戦「広島東洋カープ対西武ライオンズ」の事業に対し、支援を行いました。また、市民にプロ野球の観戦の機会を提供し、スポーツの振興と青少年の健全育成を図ることを目的として、マツダスタジアムの年間指定席を購入し、市民を対象に特別料金でチケットの販売を行いました。



2018年プロ野球公式戦

■ みよし田舎ツーリズム協議会活動補助（地域振興部）

三次市の持つ田舎ならではの地域資源を活用した都市住民との交流や田舎ツーリズムを促進する協議会の活動を支援しました。コテージなどの宿泊施設を中心にワーキング会議を開催し、インバウンド利用者向けの指差しシートを作成しました。協議会の会員は住民自治組織4団体と6法人、農家民宿9軒が加入し、地域活性化と三次市での田舎体験による交流を進めています。



みよし田舎ツーリズム協議会ワーキング会議

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
三次市観光宿泊・スポーツ合宿助成事業	19,140		19,140	クーポン利用 17,058 件 パンフレット作成 30,000 部
オール三次観光・交流事業補助	25,837		25,837	総観光客数 338 万人
観光推進事業補助	43,010		43,010	観光協会（5 団体） 33,329 千円 全市的イベント 9,681 千円
地域イベント開催補助	14,783		14,783	13 事業
プロ野球公式戦開催実行委員会負担金	4,743		4,743	プロ野球公式戦来場者数 13,841 人 マツダスタジアム年間指定席 22 席
みよし田舎ツーリズム協議会活動補助	500		500	【加入団体数】 農家民宿 9 自治組織 4 法人 6
計	108,013		108,013	

ウ 観光推進の組織づくり・情報発信機能の強化

施策の概要

入込観光客を増やすため、テレビ番組の放映や旅行雑誌への掲載などにより三次の観光をPRし、観光客誘致を図りました。本市が保有する豊かな観光資源と、各種機関・団体などが開催する地域イベントなどを、季節に応じて一体的に取りまとめ、旅行雑誌、新聞紙面などの広報媒体の活用や広島バスセンターへのポスター掲出、ホームページへの観光情報の掲載などにより、情報発信の強化に努めました。そのほか、「三次市観光公式サイト」のFacebookなどで常に旬な情報を提供できる体制づくりを行いました。また、三次観光における「稼ぐ力」と「交流」の創出をめざし、平成29年12月に設立された三次版DMOである「一般社団法人みよし観光まちづくり機構」との連携強化を図りました。

施策の成果

中国やまなみ街道の全線開通の効果を最大限に活かすため、オール三次の観光戦略に基づき、岡山県や四国方面を中心に広報媒体の活用やPR活動を行いました。また、広島県内に向けては、3分間の三次市観光情報番組を制作し、40本放送しました。

事務事業の実施状況

■ 【オール三次観光・交流キャンペーン】三次市広報番組やコマーシャルなどによる観光情報発信事業（地域振興部）

本市の観光情報をお知らせする番組「みよし、どうですか？」による情報発信を行うとともに、県内及び岡山県を中心にした三次市の観光PR用コマーシャルを放映しました。

また、夏季と秋季に新聞の1面広告を、春季には見開き前面広告を掲載し、三次の旬な観光情報を発信しました。

■ 【オール三次観光・交流キャンペーン】観光PR配布物等作成事業（地域振興部）

三次市にゆかりのある漫画家の宇河弘樹氏にデザインを依頼し、三次市をイメージする4種類のポスターを作成しました。



三次が舞台の漫画「朝霧の巫女」のキャラクターが描かれた観光PRポスター

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

また、三次の伝統文化であり観光資源である神楽を紹介するパンフレット「三次の神楽」をリニューアルすると共に、ダイジェスト版を作成しました。合わせて、インバウンド向けの取組として、「三次の神楽」パンフレットのダイジェスト版を多言語化（英語・中国語（繁体字、簡体字）・韓国語・スペイン語）しました。



日本語版の「三次の神楽」



外国語版の「三次の神楽」

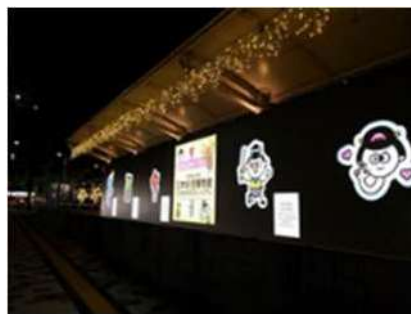
■ 【オール三次観光・交流キャンペーン】三次市観光公式サイトの更新（地域振興部）

「三次市観光公式サイト」のコンテンツの作成を官民一体で行いました。また、Facebook や Twitter を活用し、旬な情報を提供しました。

■ 【オール三次観光・交流キャンペーン】みよしKINSAI イルミネーション 2018（地域振興部）

三次駅前にイルミネーションで装飾を施し、冬の三次への誘客とおもてなしの向上を図りました。

また、「三次もののけミュージアム」の開館 PR の一環として、もののけキャラクターの LED パネルを新設しました。



三次駅前のイルミネーション

■ 【オール三次観光・交流キャンペーン】観光おもてなしガイド養成講座（地域振興部）

観光ボランティアガイドの新たな人材を発掘・育成するために、6年目となる三次市観光おもてなしガイド養成講座を行いました。



観光おもてなしガイド養成講座



観光おもてなしガイド養成講座 臨地研修（広島市）

■ 観光客実態調査事業（地域振興部）

観光客のニーズや満足度を把握するため、対面によるアンケート調査を行いました。

■ 無料Wi-Fi事業（地域振興部）

外国人にも対応できる無料Wi-Fi（無料公衆無線LAN）として、HIROSHIMA FREE Wi-Fiのアクセスポイントを平成31年4月にオープンした三次もののけミュージアムに設置しました。
また、HIROSHIMA FREE Wi-Fiを活用した情報発信（ささとパンフ）を行いました。

■ 三次版DMO事業（総務企画部、地域振興部）

平成29年12月に設立された、観光のマーケティングとプロモーション事業を行う三次版DMO「一般社団法人みよし観光まちづくり機構」の活動に対し補助を行いました。

（単位：千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
情報発信事業（観光PR強化）	25,193	起債 21,200	3,993	テレビ放送 40回 CM放送 186回 中国新聞全面広告 2回 中国新聞見開き全面広告 1回
観光PR配布物等作成事業	3,614	起債 3,600	14	「三次の神楽」 10,000部 「三次の神楽」 （ダイジェスト版）2,000部 （外国語版5か国語） 各2,000部 観光PRポスター 4種類
オール三次観光・交流事業補助（ホームページ更新）	1,261		1,261	記事掲載 299件 Facebook「いいね」件数 2,249件
オール三次観光・交流事業補助（イルミネーション）	4,000		4,000	11月25日～3月14日まで 111日間
オール三次観光・交流事業補助（ガイド養成講座）	167		167	全8回 受講者数 38人
観光客実態調査事業	3,624	国県支出金 1,812	1,812	アンケート調査 11月
無料Wi-Fi事業	2,458	起債 2,400	58	設置箇所 5箇所（新規1） ささとパンフ配信
三次版DMO事業	30,160	国県支出金 13,724	16,436	（一社）みよし観光まちづくり 機構補助
計	70,477	42,736	27,741	

(5) 定住・交流 ～ちょうどいい田舎まち～

ア 定住のまちづくり

イ 交流の推進

施策の概要

本市の充実した子育て支援・教育環境、医療体制などの紹介とあわせ、ＵＩＪターンを促す移住支援情報を、メディア、チラシ、Web ポータルサイトを活用し、市内外に向け発信しました。移住希望者へは集落支援員や地域ネットワークと連携した、空き家情報バンク登録物件の紹介や、広島県などと連携して定住相談会を実施するなど、三次市で暮らす新たなライフスタイルを提案しました。

施策の成果

広島県交流・定住促進協議会や NPO 法人ふるさと回帰支援センターが主催する大都市圏での定住フェアに参加し、田舎暮らしを希望する 31 組 39 人の相談を受け、三次暮らしをアピールしたほか、定住促進チラシの配布、ラジオ出演や新聞、移住専門誌への記事掲載などメディアを通じて本市の魅力ある住環境を広く発信しました。若者の定住対策としては、3月に広島市において合同就職説明会を開催し、市内企業 16 社と大学生のマッチングを図りました。

ＵＩＪターン者の定住については、住宅取得助成など、各種メニューを用意して促進した結果、支援策を利用した合計 209 人が定住されました。

ふるさと納税は寄附件数を伸ばすために、WEB上での受付窓口を1ヶ所から3ヶ所へ増やすとともに、都市部で新聞広告を掲載するなどの取組により、寄附額は微増しました。地域おこし協力隊は、平成30年度に任期を終えた隊員7人のうち、5人が本市に定住し、それぞれの分野で活動しています。また、三次市ふるさとサポーターの登録者も増えたことから、ふるさとサポーター会員BOOKを改定し、新たな本市の情報を伝えるとともに、首都圏で交流会を実施し、出身者や本市にゆかりのある方と交流を深めました。



NPO 法人ふるさと回帰支援センター 定住相談



広島県交流・定住促進協議会 東部フェア

事務事業の実施状況

■ 【定住対策事業】空き家情報バンク制度（地域振興部）

市内の空き家（新規登録 34 件）を登録し、ホームページなどで紹介しています。市外在住の利用希望者からの相談が 356 件あり、25 件の現地案内を行った結果、7 世帯 15 人が移住されました。

また、登録情報閲覧によって市民間での契約成立も 16 件あり、市内空き家の有効活用ができました。

■ 【定住対策事業】空き家購入サポート事業（地域振興部）

空き家情報バンク制度を通して物件を購入し、定住のために改修する場合、改修費用の一部を補助する事業を行い、2件交付しました。

■ （新）【定住対策事業】空き家バンク家財等処分費用補助事業（地域振興部）

空き家情報バンクに登録する目的で、家財等を処分し、または、購入者が既登録物件の家財等を処分する場合、その委託費用の一部を補助するもので、3件の利用があり、うち2物件が成約となりました。



空き家情報バンク登録物件

■ 【定住対策事業】Uターン者住宅・店舗改修事業（地域振興部）

実家の所有者がUターン者のために自家を改修する場合、改修費用の一部を助成する事業を行い、20件交付しました。また、平成28年度から始めた家業を継ぐ場合の店舗改修費用の一部を助成する事業には1件交付しました。この支援制度を利用して、46人が定住されました。

■ 【定住対策事業】移住者住宅取得支援事業（地域振興部）

転入して3年未満の移住者または移住希望者が市内に住宅を新築した場合の費用、または、中古物件を購入した場合の購入費用若しくは住宅の改修費用に対して一部を補助する事業で39件交付しました。この支援制度を利用して、112人が定住されました。

■ 【定住対策事業】宅地購入・新築奨励金交付事業（地域振興部）

U・Jターン者が市内に住宅を新築し、他の事業の要件に該当しない場合に家屋の固定資産税相当額を5年間助成する奨励金交付事業を行い、37件交付しました。（うち新規申請件数11件）

■ 定住相談事業（地域振興部）

広島県交流・定住促進協議会やNPO法人ふるさと回帰支援センターが主催する定住相談会に参加し、田舎暮らしに関心のある人に三次市の魅力を伝えるとともに、空き家情報バンクをはじめとする住まいや子育て、医療などの情報提供や各相談に応じました。

また、広島県と県北の8市町との共催で「山の働き方」と題した移住フェアを行いました。本市は、広島三次ワイナリーのワイン造りや商品開発業務を紹介し、3組4人が参加されました。若者の就職・定住支援として、三次市雇用労働対策協議会と開催した合同就職説明会では、市内企業に就職を希望する14人の学生が集まり、参加した16社とのマッチングを図りました。



定住相談会 三次市紹介ブース



合同就職説明会（左：フリートークの様子 右：説明会の様子）

■ 定住対策情報発信（地域振興部）

ラジオ出演を通じてU・I・Jターン者への支援メニュー、特色ある各地域の取組、本市に移住された方のきっかけや体験談などを、県内リスナーを中心に発信したほか、広報みよしやケーブルテレビなどを通じて支援策を市民に周知することで、市外に暮らす家族にも情報を提供しています。

また、全国に向けては、移住専門雑誌や新聞広告で三次市の魅力を伝える、さらには、これまでのふるさと納税の寄附者約1万1千人に対し、本市の魅力をデータにて直接お伝えする、ツナガリ・関係人口を増やす新たな情報発信を行いました。



移住専門雑誌で三次の情報を掲載

■ ふるさと納税（地域振興部）

ふるさとと応援寄附金の取組にあたり、お礼のふるさと産品の種類を増やし、返礼品を充実させるとともに、雑誌や新聞への広告掲載のほか、三次市ふるさとサポーターや県外の同窓会などへもチラシを直接送付して、ふるさと納税を呼びかけました。

平成30年7月豪雨により被災した本市の復興を願う出身者など、全国の方から、ふるさと納税を通じて269件、5,237千円の寄附をいただきました。平成30年度全体の寄附額は、WEB上の窓口を3ヶ所に増設した効果もあり、3,068件、50,207千円と前年度に比べ微増しました。



平成30年度返礼品人気No.1
「はちみつセット」

■ 新たな婚活事業（地域振興部）

三次市雇用労働対策協議会の会員企業から推薦いただいた実行委員が企画・運営を行い、企業の枠を越えた仲間づくりと男女の出会いの場の提供というコンセプトで交流事業を行っています。

平成30年度も、企業間交流イベントを複数回開催する予定でしたが、平成30年7月豪雨災害などの影響で、バスツアーの1回に留まりました。しかしながら、28人の若いメンバーが参加され、企業の枠を超えた交流を行うことができました。

また、市内の結婚支援グループの活動に対して結婚コーディネーター事業補助金を交付し、取組を支援しました。計6回行われたイベントに男女計196人が参加されました。



企業間交流事業 参加者集合写真



パンづくり体験で交流

■ 地域おこし協力隊事業（地域振興部）

都市部から地域社会の担い手として地域おこし協力隊員を受け入れ、ワカモノの新たな視点から、それぞれの活動を通じて、地域の活性化を図りました。

ピオーネ栽培や酪農への就農をめざす隊員、美術大学で学んだスキルを活かし、新たな観光資源である「もののけ」のデザイン化などに取り組み、本市の知名度アップを狙う隊員、地元食材を用いた田舎レストラン経営を目標とする隊員などが、それぞれ関係する地域や施設で活動しています。

平成30年度に任期を終えた隊員7人のうち、5人が本市に定住し、それぞれの夢に向かって活動しています。



就農をめざす地域おこし協力隊員

■ （新）地域おこし協力隊起業支援補助事業（地域振興部）

平成30年度に任期を終えた隊員3人が市内での起業目的で、この制度を利用しています。夫婦で野菜やメロンを育て出荷、また、加工して販売する株式会社を立ち上げるために必要な機器などの設備購入に充てています。

■ ひろしま里山ウェーブ拡大プロジェクト事業（地域振興部）

地域貢献に高い意欲を持つ首都圏の若者と連携する県の事業を継続し、プロジェクトメンバーによる三次市の首都圏でのPRや三次の認知度を上げるスナックイベントの開催、義士祭の時期に合わせて三次市ふるさとサポーター登録促進の活動など、事業連携を行いました。



ふるさとサポーター会員登録活動（義士祭にて）

■ 三次市ふるさとサポーター事業（地域振興部）

三次市の魅力を全国に発信し、全国各地から三次市を応援していただくために、三次市出身者やゆかりのある方、三次市に関心がある方に登録を呼びかけています。会員には年2回の会報を発行し、本市の旬な情報をお伝えしているほか、登録者の多い首都圏では交流会を開催し、約70人のメンバーと親睦を深めました。（3月末登録者数：744人）



三次市ふるさとサポーター交流会 in 東京

■ お試し暮らし住宅（地域振興部）

移住希望者が本市への移住を前提とした住まいや仕事探し、生活体験などに安価で利用できる滞在施設を提供し、移住促進を図りました。2件の申請があり、2世帯5人の利用がありました。

第3節 豊かな市民生活と元気な地域を支える「仕事づくり」

(単位：千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳		成果指標など
		特 定 財 源	一般財源	
空き家情報バンク制度	246		246	新規登録件数 34 件 現地案内件数 25 件 移住者数 7 世帯 15 人 (市内間契約 16 件)
空き家購入サポート事業	2,550		2,550	2 世帯 5 人 (うち小学生以下 2 人)
空き家バンク家財等処分 費用補助事業	459		459	利用件数 3 件
Ｕターン者住宅・店舗改 修事業	20,354		20,354	21 世帯 46 人 (うち小学生以下 11 人)
移住者住宅取得支援事業	34,788		34,788	39 世帯 112 人 (うち小学生以下 38 人)
宅地購入・新築奨励金 交付事業	2,321		2,321	交付件数 37 件 (新規申請件数 11 件)
定住相談事業 定住フェア等 合同就職説明会	911		911	相談者数 31 組 39 人 参加企業 16 社 14 人参加
定住対策情報発信(パン フレット・チラシ・雑誌・ 新聞・ラジオ)	8,251		8,251	雑誌広告 4 種 チラシ・ポスター 38,650 部 ラジオ出演 12 回
ふるさと納税(発送・手 数料等の経費)	20,825		20,825	寄附件数 3,068 件 寄附金額 50,207 千円
新たな婚活事業 (企業間交流事業)	89		89	イベント参加者 28 人
新たな婚活事業 (結婚コーディネーター事業補助金)	673		673	団体活動補助 (イベント回数 6 回 参加者 196 人)
地域おこし協力隊事業	36,384		36,384	委嘱隊員数 11 人
地域おこし協力隊起業支 援補助事業	3,000		3,000	利用者 3 人
ひろしま里山ウェーブ拡 大プロジェクト事業	275		275	参加メンバー 9 人
三次市ふるさとサポーター 事業	1,079		1,079	登録者数 744 人
お試し暮らし住宅	88		88	2 世帯 5 人
計	132,293		132,293	